

# 広報委員長会議次第

開催日時 令和7年(2025年)8月4日(月)  
午後1時30分から

開催場所 市役所3階全員協議会室

## 1 開 会

## 2 市長挨拶

## 3 議 題

### (1) 8月の広報事項

#### ①伊豆湘南道路の実現に向けたアンケート調査の実施について

(国県事業推進課)

### (2) 市政への要望事項等

#### ①8月の市政への要望事項等

## 4 その他

### (1) 令和7年度広報委員アンケートについて

## 5 閉 会

《 資料データを市ホームページで公開しています 》

「トップページ」⇒「小田原で暮らす」⇒「行政経営」

⇒「広報・広聴」⇒「広報委員」⇒「広報委員長会議」



# 神奈川と静岡の未来をひらく

## 伊豆湘南道路の実現に向けたアンケート調査の実施について

### 【伊豆湘南道路とは】

- 神奈川県西部地域と静岡県東部地域を箱根の南回りにつなぐ、両地域の新たな東西軸となる構想路線です。
- 両県を結ぶ既存の道路は、主に箱根越えの国道1号と海岸線を走る国道135号ですが、慢性的な交通渋滞に加え、高波、崖崩れ、積雪など自然災害による通行止め等が頻繁に発生するなど、大変脆弱な状況です。これらの課題を打開するために構想されているのが、**伊豆湘南道路**です。



### 県境周辺道路の主な課題

- ・高規格道路（一般的な道路より高速で走ることができる道路）まで時間がかかる。
- ・急カーブ等が多く走りにくい。
- ・日常生活での移動に時間がかかる。
- ・観光シーズンは渋滞で時間が読めない。
- ・観光や物流と地域の交通が混在・集中し、事故や渋滞が起きる。
- ・自然災害により道路が通れなくなる。

### 実現により期待される効果

- ・人やモノを目的地まで速く快適に運べる。
- ・日常の移動がしやすくなり安心、快適に生活できる。
- ・観光が活性化する。
- ・交通集中が解消し、安全で快適に走行できる。
- ・災害時も通行でき、災害時に救援活動や物資輸送を確実に行うことができる 等

### 【アンケートの実施】

- 神奈川、静岡の両県では、**伊豆湘南道路の計画づくりを進めており、その一環として伊豆湘南道路に関する第2回アンケート調査を実施します。**（令和3年度に第1回を実施）

今回は、物流や観光などのより広域的な道路交通の状況を踏まえ、課題を整理しましたので、改めてみなさまのご意見を伺います。

回答期間：8月8日（金）～10月22日（水）

回答方法：アンケートに同封の返信はがき、または回答フォームで

質問内容：地域における道路交通の課題、伊豆湘南道路に期待すること

問い合わせ先：神奈川県道路企画課 TEL045-210-1111（内線 6423）

※アンケートは今後、県から本市全戸に郵送されます。



【回答フォーム】

### 【第3の東名とも言える、いのちを守る道路の実現】

●今後、伊豆湘南道路が実現し、神奈川県側で小田原厚木道路や西湘バイパスにつながり、静岡県側で伊豆縦貫自動車道にアクセスできれば、首都圏と中部圏をつなぐ、

**第3の東名とも言える、広域的な極めて重要な道路**になります。

●近年頻発する豪雨や今後発生が懸念される巨大地震、富士山噴火などの災害時には、この道路が**多くのいのちを守る生命線**となるとともに、平時においても、観光、物流など様々な分野で大きな効果が期待されています。

### 【実現に向けた本市の取組】

●伊豆湘南道路の早期実現を目指し、小田原市・真鶴町・湯河原町・箱根町・熱海市・伊東市・伊豆市・伊豆の国市・函南町・三島市・長泉町・清水町・沼津市等で「伊豆湘南道路建設促進期成同盟会」を設立し、連携して継続的に国土交通省等へ要望活動を実施しています。



令和7年2月12日実施  
国土交通大臣への要望活動

●今後、地元の機運醸成のため、真鶴町を会場にシンポジウムを開催予定です。



伊豆湘南道路 PR 動画